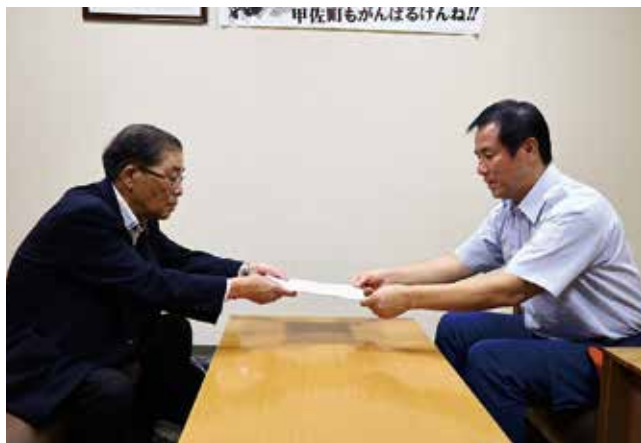




▲甲斐町長に要望書を手渡す町商工会の中村幸男会長（写真左）

町内経済の再生に向けて 町商工会が町へ要望書を提出

9月10日（木）、町商工会が令和8年熊本地震からの復興に向けた町内経済活動の再生を図るため、町へ要望書を提出しました。要望書では、被災者への支援を行いつつ、事業者が安心して事業を継続し、地域経済の再生につながる取り組みを求めています。町では、商工会と連携しながら、地域経済の活性化と復興に向けた取り組みを進めていきます。



▲九州少年柔道大会に出場した岩吉帝虎さん（写真右）と帝哉さん

鍛えた技と心で一本勝負 九州少年柔道大会に出場し活躍

7月11日（土）、12日（日）に山鹿市で開催された第44回九州少年柔道大会に、岩吉帝虎さん（龍野小2年・上早川二区）と岩吉帝哉さん（同小4年・同区）が出場しました。2人は所属する桜木柔道クラブから熊本県チーム代表として出場。帝虎さんは2年生の部で優勝し、団体戦でもチームの優勝に大きく貢献。帝哉さんは、4年生の部でベスト16に入りました。



▲優良商品賞を受賞した kei カンパニー代表のクマガイ佳子さん

特産品で優良商品賞受賞 本町特産のニラを使った「緑のスパイス」

甲佐ブランド「こうさんもん」認定品の「緑のスパイス」（kei カンパニー）が県物産振興協会の優良商品賞を受賞しました。これは、県内企業の優れた新規開発商品を表彰し、県産品の振興を図る目的で毎年表彰を行うもの。賞状を受け取ったクマガイ佳さんは「これをきっかけに、より多くの皆さんに手に取っていただきたいです」と受賞の喜びを語りました。



▲県道路都市局の大和局長（写真右）に要望書を手渡す甲斐町長

早期バイパス道路完成を要望 県道三本松甲佐線の早期復旧要望活動

8月25日（火）、令和8年熊本地震で被災した県道三本松甲佐線の早期復旧を目指すため、県へ要望活動を行いました。これまでの地震や豪雨などでも通行できなくなった事案や、今回の震災でいまだ通行止めが続いている状態を踏まえ、既存道路の復旧およびバイパス道路の整備の早期完成を望む旨の要望書を、甲斐町長が県道路都市局の大和局長に手渡しました。



▲甲斐町長から感謝状を受け取った松尾代表取締役社長（写真左）

寄付企業に感謝状を贈呈 企業版ふるさと納税制度

8月24日（月）、企業版ふるさと納税制度を利用して本町に寄附をいただいた飯塚電機工業(株)（松尾修一代表取締役社長）に感謝状が贈呈されました。同社は、電機、機械工事や配管工事などを主に行う企業。贈呈式で感謝状を受け取った松尾代表取締役は「震災対応にも携わりましたが、この寄付を通じて甲佐町が潤い、さらなる交流が生まれれば」と話しました。

楽天が本町へ温かい支援 町内小・中学生、甲佐高校生へ贈呈

楽天トータルソリューションズ(株)から本町へ、Tシャツや靴下、タオルなどが入った携帯用衣類「IRUI」2,000セットが贈呈されました。

同社は、東北楽天ゴールデンイーグルスを運営する(株)楽天野球団と同じく楽天グループに所属する企業で、7月に本町と「県営野球場の誘致等に関する連携協定」を締結しています。

贈呈された「IRUI」は、町内の小・中学生と甲佐高校生に配布。9月2日、乙女小学校（藤川寛校長）と甲佐中学校（松崎秀誓校長）で贈呈式が開催されました。

乙女小では、同社の染川芳宏社長らが児童に直接手渡し、「地震はとても怖かったと思います。この衣類セットは災害時の備品として使ってください」と笑顔で呼びかけました。児童を代表して阿津坂光さん（6年・世持区）が「応援に来てくれてとてもうれしいです」と感謝の言葉と伝えました。

11日（金）には、甲佐高校（原恭一校長）でも贈呈式が開催され、生徒に「IRUI」が配布されました。



▲二ノ農家の境米一郎さんから栽培管理などの説明を受ける参加者

上益城で就農への第一歩 新規就農希望者向けの産地見学会を開催

9月12日（土）、上益城地域新規就農希望者向けの産地見学会が開催されました。農業を始めたい人を対象に、実際の農業現場の見学などを通じて上益城での新規就農につなげることを目的に開催。本町の二ノ農家や「Aかみましきの二ノ選別調製施設などの農業施設の見学後、就農や移住についての相談会も行われ、地域での就農への第一歩を踏み出す機会となりました。



▲乙女小での贈呈式（写真上）と甲佐高校での贈呈式の様子（下）